

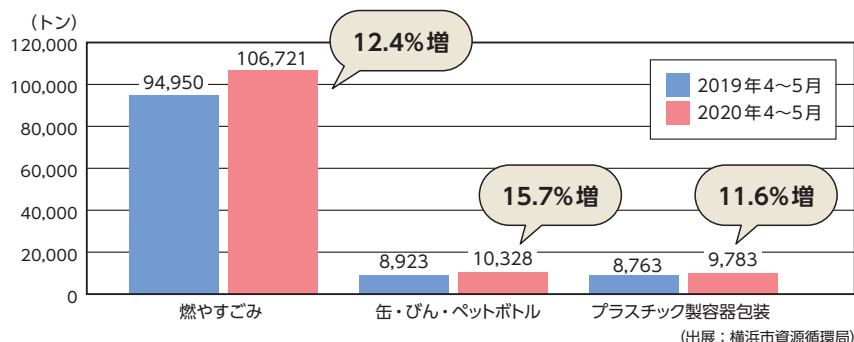
ごみと資源物の量が増える年末年始こそマナーが大切！

集積場に出される資源物やごみの量は、1年間のうち、5月、8月、12月に増加します。これは、5月がゴールデンウィーク、8月が夏休み、12月が年末年始の長期休暇があり、多くの家庭で片付けや大掃除が行われるためです。さらに、昨年からは新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の影響で家にいる時間が増えたことにより、家庭から出される資源物とごみの量が、例年に比べて1割以上も増えているのです(右グラフ)。

回収場に出される資源物やごみが増えると、普段よりも回収に時間がかかるようになります。そのために効率的な回収が必要になるわけですが、このときにポイントとなるのがごみ出しのマナーなのです。

効率的な回収に大きく影響するマナーは、①朝8時までに出す、②段ボールはたたんで出す、③集積場所の資源物は品目ごとに整理しておく、の3つです。これらのマナーが大切な理由は皆さんもよくご存じだと思います。積み残しなく効率的な回収を実現するために、ぜひご協力をお願いします。

■ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の影響で増えた資源物とごみ



品目ごとに整理されず、資源物が雑然と積まれた集積場所。品目ごとに回収業者が異なる場合に積み残しの原因になる。



段ボール箱の中に雑誌やその他の紙、段ボールが詰め込まれているため、中身の確認や箱をたたむ時間が必要になる。



中に詰め込んだり、箱のままの段ボール。



ペットボトルや雑紙などがポイ捨てされたように見える集積場所。手前のビニール袋には、未分別で回収できないという警告文が貼られている。



地域と資源循環に貢献する リサイクル事業者の新しい試み

リサイクル組合では、環境意識の向上やリサイクル事業のイメージアップのために、さまざまな社会貢献事業に取り組んでいます。そして、組合に所属するリサイクル事業者の中には、独自の社会貢献事業に取り組んでいる会社が少なくありません。今回は、地域と資源循環に貢献するリサイクル事業者の試みをご紹介します。

リサイクル組合のCSR活動

CSR活動とは、「企業が利益の追求だけを行うのではなく、すべてのステークホルダー（利害関係者）と良好な関係を維持し、よりよい社会を築くために社会貢献する活動」のことです。

リサイクル組合の社会貢献活動としては、横浜市内の小学生の子どもたちに環境問題や環境保全について考え、絵日記で表現してもらう「環境絵日記」があります。毎年、夏休みに小学生を対象に募集を行い、作品は環境絵日記展というイベントで展示し、優秀作品を表彰しています。環境絵日記を通じて子どもたちの環境意識を育成

し、SDGsの啓蒙と普及に貢献しています。また、小学校の子どもたちにアルミ缶の回収作業を体験してもらうことで、資源リサイクルの正しい理解を深めてもらう環境教育のひとつ「アルミ缶もったいないプロジェクト」もあります。ほかにも、市民グループや学校などへ出向き、リサイクルに関する制度やしくみなどを解説しながら、皆さんの疑問にお応えする「出前講師」や、横浜市内の飲食店と連携して、飲料などに使われるびんをリユースすることで循環型社会を推進する「横浜リユースびんプロジェクト」など、幅広い活動をしています。

横浜発祥のサイダーを活用した社会貢献活動

有限会社マルニ商店

有限会社マルニ商店は、1930年に創業した主にびんのリサイクル事業を手がける会社です。事業を通じて社会に広く貢献したいという目標を掲げ、積極的に地域社会への貢献活動を行っています。

びんのリサイクルには、何度も繰り返し使えるリターナブルびんを再使用する方法と、ワンウェイびんと呼ばれる使い捨てのびんを粉砕し、カレット(ガラス屑)にして再びガラス製品などを製造する原料にする方法があります。マルニ商店は主にカレットを扱っていますが、リターナブルびんのリサイクルも手がけています(右写真上段)。

マルニ商店が取り組むさまざまな社会貢献活動の中でもユニークなのが「hands to hands プロジェクト」です。これは、横浜発祥とされるサイダーの味を忠実に復刻している横浜市内の飲料メーカーと協力して、市内の児童がデザインしたラベルを付けた「hands to hands サイダー」を地域で販売する取り組みです(右写真下段)。サイダーは横浜市内の飲食店や小売店、ネットで販売され、その売上の一部で小学校の環境用教材を購入し、寄付しています。

さらに、このプロジェクトの経験をもとに新たに進めているのが、小児がんの経験がある市内在住の小学生やその仲間、家族によって運営されている「一般社団法人みんな



繰り返し使うリターナブルびんの回収作業



びんの種類や色、形状ごとに分ける選別作業



レモネードの会楽島会長とレモネードサイダー



hands to hands サイダーの販売風景

のレモネードの会」の支援活動です。レモネードの会にラベルをデザインしてもらった「hands to hands レモネードサイダー」を販売し、この売上を通じて、レモネードの会が取り組む小児がんの知識の啓蒙活動を応援しています。

古布をリサイクルしたアイデア商品で 循環型社会に貢献

ナカノ株式会社

ナカノ株式会社は、1934年創業の古布・古繊維をリサイクルしている会社です。ナカノでは、エコロジー（環境）とエコノミー（経済）という相反する活動が調和した社会を構築するための知恵と哲学（フィロソフィー）を「エコソフィー」と呼び、これを行動指針としてリサイクル事業を展開しています。

回収された古布のリサイクルには、3つの方法があります。工場で衣類の種類や傷み具合によって選別したあと（**下写真上・中段**）、もとの衣料のまま再利用する「中古衣料」、裁断して布切れに加工し、機械などの油をふき取る布として利用する「ウエス」、布を細かく裂いてほどこき、綿状にして断熱材や建材、糸の原料などに利用する「反毛」です。

ナカノが取り組む社会貢献事業のひとつに古布をリサイクルして作った「エコカラー手袋」があります（**下写真下段**）。これは、中古衣料やウエス、反毛にも利用できず、従来は破棄処分されていた古布を使って開発した軍手です。一般に販売されている軍手は、手触りや風合い、コストを優先して細い糸を使用するため、すぐに穴があくなどの耐久性に難があることが多いのですが、この軍手は繰り返し使えるように高い耐久性を持っており、すぐに穴があいて破棄される軍手よりも環境にやさしい手袋になっています。2009年から2021年9月末までに約500万組の販売実績があり、これはTシャツに換算して120万枚、使用した糸の長さは地球64周分に相当します。また、廃棄処分した場合と比較して、横浜スタジアム15.5個分のCO₂削減になっているそうです。



工場での選別作業



さまざまな色とサイズのエコカラー手袋



資源物の回収だけではない リサイクル事業者の幅広い活動

リサイクル組合には、ご紹介した2社以外にも、さまざまな社会貢献活動をしている企業があります。本来、リサイクル事業は回収できる量や取引価格が常に変動するため、企業としての経営基盤が不安定なのですが、環境問題に対する高い志と社会的責任をもって、各社が真摯に取り組んでいます。皆様のご理解と応援をお願いします。



「SDGs未来都市・環境絵日記展2021」を開催

11月28日(日)、横浜市役所の1階アトリウムにてSDGs未来都市・環境絵日記展表彰式を開催しました。昨年度は環境絵日記を市内で募集することができなかったのにも関わらず、今年度は6,608作品もの応募がありました。

数多くの応募作品の中から環境絵日記大賞を受賞したのは、横浜市立南瀬谷小学校2年柳沢恵稟香さんの作品「オレ、ギバっち」です。絶滅危惧種である「ギバチ」というナマズ目線での日記文が書かれおり、川に来る子どもたちから「ギバっち」と呼ばれている自己紹介から始まります。川の汚染や気候変動に困っていることを訴え、その原因である人間に助けを求めます。そして、川のごみ拾いをしてギバっちの家をきれいにしてくれた人間もいることから、「人間もすてたもんじゃないな」と思い、「こんないい仲間を増やしてくれよ、人間!!」という言葉で締めくくられます。

表彰式は、このような素晴らしい28作品を優秀特別賞として発表・

表彰しました。ほかにも優秀特別賞、RD賞を受賞した201作品、サンディエゴから届いた絵日記12作品を加えた作品を11月22日(月)から1週間展示し、多くの方にご覧いただきました。応募された絵日記は組合HPのWeb展示場からもご覧いただくことができますので「環境絵日記」で検索してください。



表彰式



展示会場

来場者ならびにご協力いただいた関係各所の皆さま、誠にありがとうございました。



2021年度環境絵日記大賞作品

協賛企業 (順不同・敬称略)

主催

●横浜市資源リサイクル事業協同組合

共催

●横浜市

協賛

【地域企業賞】

- (株)安藤建設 ●(株)ダイイチ ●(株)ハイマックス ●(株)アブソルート ●(株)エックス都市研究所 ●コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
- (株)小保組 ●特定非営利活動法人 横浜市集団回収推進部 ●(株)栄港建設 ●日産自動車(株) ●(株)大川印刷 ●横浜グリーン購入ネットワーク
- 大西金属(株) ●UR都市機構 ●(株) a・とも総合保険サービス ●(株)横浜スタジアム ●みんな電力(株) ●あいおいニッセイ同和損害保険(株)

【一般サポーター】

- 青木石油商事(株) ●協同組合厚木市資源再生センター ●ゾーホージャパン(株) ●富士産業(株) ●タテバ(株) ●神奈川三菱ふそう自動車販売(株)
- (株)オカムラ ●神奈川県金属原料商工業協同組合 ●横浜資源化協議会 ●ガラスびん3R促進協議会 ●東洋ガラス(株) ●新明和工業(株)
- (株)東京エンジニアリング ●神奈川県リサイクル産業団体連合会 ●キンセイ食品(株) ●藤沢市資源循環協同組合 ●神奈川県硝子原料商業組合
- (株)三木組 ●タカナシ乳業(株) ●ウォンツ(株) ●大和市リサイクル事業協同組合 ●影近・前田税理士法人 ●(株)オフィス・アルファ ●(株)泰山園
- (株)エフオージー ●(株)大塚商会 ●南関東日野自動車(株) ●コマツカスタマーサポート(株) ●(有)美木 ●尾鈴電気(株) ●(有)マルニ商店
- 影島興産(株) ●(株) ECJ ●横浜アルコ(株) ●(有)工藤紙業 ●(株)富士紙業

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからご覧いただけます。

<http://www.recycledesign.or.jp/rd/>

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。



リサイクルデザインの発行予定

2022年春号：3月25日

2022年夏号：6月25日

2022年秋号：9月25日

2022年冬号：12月25日